



Core Electronic Systems
株式会社コア・エレクトロニックスシステム

CSR報告書

2021年度

横浜市SDGs認証制度

Y-SDGs

– standard –



(横浜市SDGs認証制度 / 私たち)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



YOKOHAMA
地域貢献企業

CSR活動（2021年度）

当社は、2013年度から「ISO26000 社会的責任に関する手引」に準じた社会的責任マネジメントシステム（以下、SRMSという）の構築並びに改善を継続しています。

このSRMSの基本的な性格は次の通りです。

(1) 当社の持続可能な発展への貢献を助けることを意図としていること

(2) 法令順守を超えた活動を奨励するものであること

これに基づき、CSRに関する基本事項を定め、適切に運用することにより、法令及び社会的責任の観点から定めた各種ルールの順守徹底と、社会的信用の向上を図っております。

現在までに、取り組んできた主な内容は以下の通りです。

1. SDGsへの取り組み

● SDGs啓発ポスター

当社は、社会的責任マネジメントシステム（SRMS）の維持推進する過程においてSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の存在を知るにあたり、根底にある社会正義と人間尊重の考え方と同じであることと、SDGs達成に果たす企業の役割への関心と期待は高いと考え、2030年は直ぐそこまで来ていることから2018年12月から直ぐに取り組むこととしました。取り急ぎ社員が身近なところからSDGsを理解するための啓発ポスターを作成し、理解を深める取組からスタートしています。

＜啓発ポスター＞

SDGsとは
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。そもそもどう発音するかというと、SDGs（エス・ディー・ジーズ）です。
SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

我が日本国でも取り組みを強化しており、特に企業の取り組みに期待が高まっています。

当社における取り組み
当社もSRMS（社会的責任マネジメントシステム）として既に活動をしていますが、SDGsとの関連性を明確にビジュアル化していくことに今後取り組んで参ります。皆さんが理解しやすいスタート・キットとして、日常生活における取り組みを前述に紹介致します。

1 貧困をなくす
2 飲食をゼロに
3 すべての人に
健康と福祉を
4 貧しい教育を
みんなに
5 ジェンダー平等を
実現しよう
6 古い水とトイレ
を世界中に
7 エネルギーをみんなに
そしてエネルギーに
8 給食がいる
貧困を減らす
9 産業と创新の
基盤をつくろう
10 人や国の不平等
をなくす
11 住み分けられる
まちづくり
12 つくる責任
つかう責任
13 生物多様性に
責任をもつ
14 海の豊かさを
守ろう
15 森の豊かさを
守ろう
16 平和と公正を
すべての人に
17 パートナーシップで
目標を達成しよう

SDGs
世界を変えるための17の目標

1 食べ残しをしないようにする。
2 買い物をする時は、使い切れる分だけ
買おう。
3 使用しなくなったものは捨てずに、寄
附やリサイクル店、フリーマーケット
を利用する。

なるべく歩く、自転車及び公共交通機
関で移動する。
豊富品の倅や避難場所の把握など、
防災に取り組む。
家電製品、自転車や自家用車をよく整
備する。



- かながわプラごみゼロ宣言

2019年03月から神奈川県が取り組む「かながわプラごみゼロ宣言」に賛同し、当社もプラごみゼロに向けた具体的行動に取り組むことをスタートし、現在まで活動を継続しています。

<マイエコ10宣言 社員行動メニュー>

- ① マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
- ② マイボトル、マイ箸を持ち歩く
- ③ お店でプラスチック製スプーンなどをもらわない
- ④ ごみの少なくなるものを選んで買う
- ⑤ 海岸などのレジャーのあとは、ごみを持ち帰る
- ⑥ 使っているものの識別マークを確認する
- ⑦ プラごみはルールに従って、分別して出す
- ⑧ 自分がどのくらいプラごみを出しているか考えてみる
- ⑨ 家族や友人にプラごみを減らすよう呼びかける
- ⑩ プラごみによる海洋汚染について調べてみる

<当社の具体的な取組内容>

- ① プラごみに関する勉強会の実施

毎月定期的に開催しているグループミーティングの機会において、プラごみ課題に関する月を設けて、勉強会を実施する。その効果測定は、理解度テストで把握し、理解度向上に努めることとする。

- ② ノベルティをプラごみ削減アイテムに

会社でお客様始め社員等に配付するノベルティ商品を、プラごみ削減に貢献できる商品（例：エコバッグ、エコタンブラーなど）を選定するようにする。

- ③ プラごみ削減の啓発ポスター等の掲示

会社の掲示スペースに、プラごみ削減の啓発ポスターを貼り、社員は勿論のこと来客にも常に意識して頂くと共に、家族や友人にも情報の共有をご協力頂くこととする。

<上記取組以外の活動内容>

➤ 2019年度：「相模湾のマイクロプラスチック汚染実態を明らかにしたい！」プロジェクト（学術系クラウドファンディング）を支援しました。

➤ 2020年度以降：神奈川県「プラごみゼロ宣言」企業として、神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課殿のプラごみをはじめとする廃棄物の不法投棄等を許さない環境づくりの取組に賛同し、社用車に「不法投棄防止啓発用ステッカー」を貼り、啓発活動に取り組んでいます。



- かながわ SDGs パートナー企業

令和元年 10 月 03 日「かながわSDGsパートナー」企業に登録され、今まで継続して活動を実施しております。



かながわSDGs パートナー登録証

株式会社コア・エレクトロニックスシステム 殿

貴社を「かながわSDGsパートナー」として登録します。

登録期間 令和元年 10 月 3 日～令和 3 年 10 月 2 日

令和元年 10 月 3 日

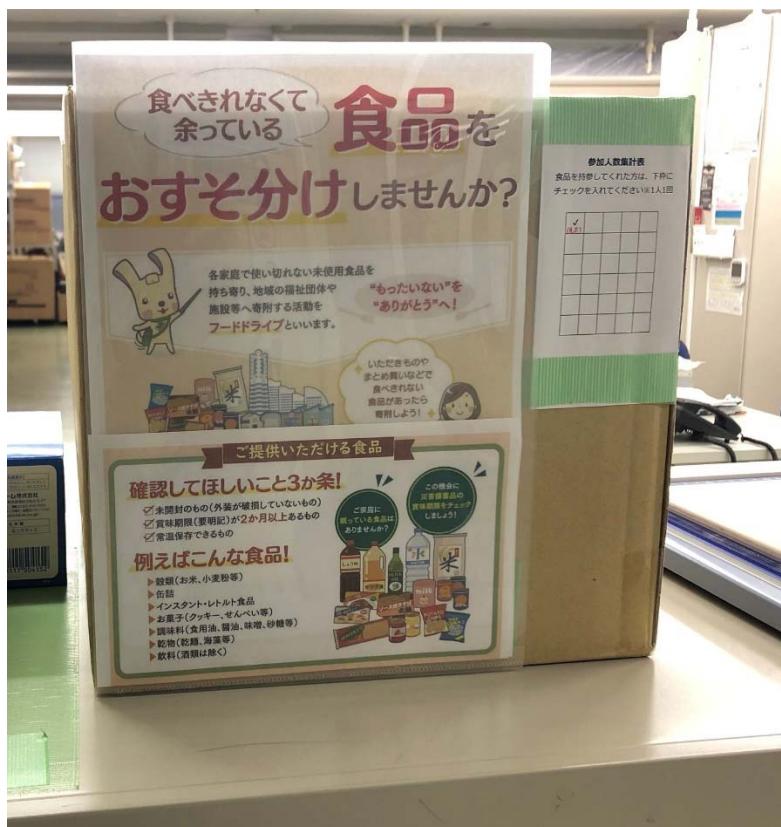
神奈川県知事 美空裕治

私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 不定期お手本日記

- 食品ロスの削減推進活動

令和元年 10 月「食品ロスの削減の推進に関する法律」の施行に合わせて、食品ロス削減月間ポスターを掲示し、啓発活動を実施すると共に、令和元年 11 月 23 日、24 日に開催された「『みなとまち 食の EARTH Fes』～ここからはじまるSDGs～」に協賛。

前述を切っ掛けに、毎年度 05 月、10 月頃に従業員とその家族を対象に「フードドライブキャンペーン」を実施しています。



- 横浜市 SDGs 認証制度

新たに「横浜市 SDGs 認証制度 “Y-SDGs”」がスタートしたのを切っ掛けに、当社は、この取組に賛同して認証取得申請を行い、令和 02 年 11 月 30 日に、「Standard」の認証を取得し、継続しています。

横浜市SDGs認証制度



(横浜市SDGs認証制度 / 私たち)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

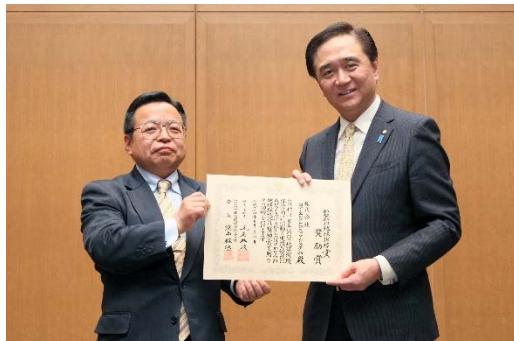
2. 環境への取り組み

- 省エネ活動

2014 年度より「Fun to Share」の主旨に賛同し、2011 年度から継続している省エネ活動（夏期及び冬期の年 2 回各 4 か月）を通じて、低炭素社会の実現に貢献をしております。（右下の写真は、平成 24 年 3 月 26 日に神奈川県より「かながわ地球環境賞 奨励賞」を表彰して頂いた時のものです。）

第 16 期（2019 年 12 月 01 日）より、CO₂ 排出量の計測を開始し、第 17 期（2020 年 12 月 01 日）より削減目標の設定と削減活動の実施を開始しております。

2021 年 02 月に本社事務所の全照明の LED 化を完了させております。



- エコアクション 21 活動

2021 年 09 月より「エコアクション 21 横浜市自治体イニシアティブ・プログラム」に参加し、認証登録を目指して活動中です。



- 再生可能エネルギーへの変更

2021年10月に神奈川県が行っている「かながわ再エネ共同オーケーション」に参加し、2022年度04月から本社（A棟）の電力を再エネ比率100%のものに切り替える予定です。



3. 顧客エンゲージメントの向上活動

- 改善提案制度

2014年度より改善提案制度運用規程を定め、従来の成り行き任せの活動から積極的参加型へ移行致しました。各部門では年度初めに目標を掲げ、達成するために月次管理と運用を行っています。



- 自己啓蒙活動

2014年度より自己啓蒙活動制度運用規程を定め、マンネリズム化した活動から積極的参加型へ移行致しました。その際に、今までの活動内容8項目（営業活動、5S+1M活動、目標達成、労働安全衛生、品質、情報セキュリティ、節電、レベルアップ）に社会貢献の項目を追加し、9項目と致しました。各部門では年度初めに目標を掲げ、達成するために月次管理と運用を行っています。



- 情報セキュリティマネジメントシステム & 個人情報保護マネジメントシステム

2013年度より個人情報保護マネジメントシステムの運用を開始し、2014年7月1日に第三者認定機関である特定非営利活動法人日本個人・医療情報管理協会より、JAPHICマーク認定を付与され、現在まで継続更新しております。

従来活動してきた情報セキュリティがより強固なものになったとともに、内部監査体制や委員会を設置したことにより、ケーススタディや代表者見直し会議等において、部門間の壁を越えた繋がりができ、知識・知恵の交流が生まれています。

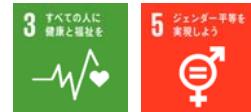
2019年11月に、安全・安心なIT社会を実現するため、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が取り組む「SECURITY ACTION(二つ星)」において、情報セキュリティ対策に取組むことを自己宣言しました。



4. 従業員エンゲージメントの向上活動

● 次世代育成支援行動計画

100人以下の企業には届出義務はありませんが、従業員エンゲージメント向上の観点から2010年度に第1回目（計画期間3年）、2013年度に第2回目（計画期間5年）、2018年度に第3回目（計画期間5年）の一般事業主行動計画を労働局に届出て、活動を継続させています。「次世代認定マーク」の取得までは至っておりませんが、取得に向け日々工夫改善を行っております。



● 労働安全衛生マネジメントシステム

2014年度より安全衛生推進者を選任し、労働安全衛生マネジメントシステムの構築を開始させました。リスクアセスメント活動及びお得意先の安全衛生協議会メンバーとして「安全週間」、「衛生週間」並びに「年末年始無災害運動」活動への積極的参加を行っており、安全安心な職場環境作りを推進するとともに、お得意先の標語コンテストでは数多くの表彰状を頂いております。

また、社用車が5台になったのを機に、2015年度より安全運転管理者を選任及び県公安委員会に届出を行い、運転者の健康管理、適性、技能、知識及び法令等遵守状況の向上に努めております。2018年度より都筑警察署と連携し、年2回の安全運転教育の内1回は職員を派遣して頂き教育訓練の実施を行っています。



● 健康経営

2016年9月の健康経営セミナーへの参加をきっかけに、企業にとって従業員の健康維持・増進を行うことは、医療費の適正化や生産性の向上、さらには企業イメージの向上等につながることであり、こうした取り組みに必要な経費は単なる「コスト」ではなく、将来に向けた「投資」であるととらえ、積極的に関与していくこととしました。まず、2016年12月に「かながわ健康企業宣言」を行い、「よこはまウォーキングポイント事業」に参画すると共に「横浜健康経営認証」にも申請を行い、2017年03月に「クラスA」を、2019年03月更新時には「クラスAA」を取得。2017年06月から2018年06月と2年連続で「健康優良企業」認定書を授与致しました。PDCAサイクルを回し、更新時には更に上位のクラスを目指します。

また、神奈川県のCHO構想推進事業所と、厚生労働省のスマート・ライフ・プロジェクトへ登録し、「マイME-BYOカルテ」の活用や健康寿命延伸の活動を推進しています。2018年度の企業対抗ウォーキングにおいては奨励賞を受賞し、2019年度も引き続き2年連続で奨励賞に選ばれています。

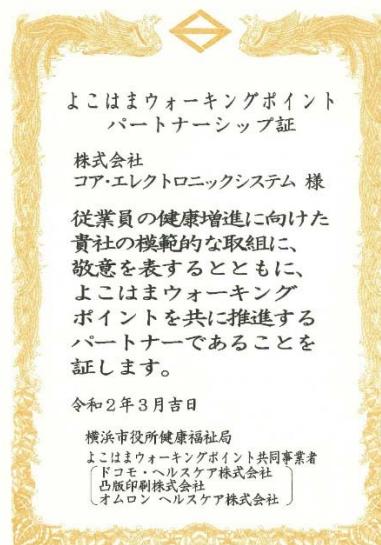


<健康優良企業>

2021年度も2018年から4年連続で、かながわ健康企業宣言において、全国健康保険協会神奈川支部殿より、「健康優良企業（五つ星）」の認定を受けました。

<ウォーキング活動>

これまでのウォーキング活動が認められ、2020年03月10日、横浜市の記者発表において、事例集「よこはまウォーキングポイントを活用した17の取組」の中で当社が紹介されました。また、共同事業者賞「よこはまウォーキングポイント・パートナーシップ証」を贈呈され、パートナー企業に選ばれました。



2019年度の新たな取組として、清掃ウォーキングも開催しました。2020年度はコロナ禍の関係で中止となりましたが、2021年度から再開しております。



- ポジティブ・オフ運動と横浜市勤労者福祉共済加入

2016 年度より「ポジティブ・オフ」運動への賛同と共に、横浜市勤労者福祉共済（愛称:ハマふれんど）に加入し、休暇制度を改善。その上で、社内メールを活用し、従業員に休暇取得と外出・旅行等の実施を啓発及びサポートしています。



- 資格取得奨励制度

資格取得にチャレンジし易くするため、細則を 2017 年度に定め、当社業務と必須資格を明確化しました。会社の業務に有益な資格を助成することで、従業員の技術スキルを高めると共に、顧客への技術面での品質確保と安心感を提供しています。



- 感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、2020 年 05 月 28 日「感染症対策標準」(OS003) を制定。管理体制を整えると共に平常時対策並びに緊急事態対策の徹底を図りました。



- 朝食欠食改善助成制度



朝食は、脳や体を目覚めさせ、一日を元気にスタートさせるためにとても重要です。横浜市の第2期横浜市食育推進計画において、朝食を欠食する市民の割合を下げることを目標のひとつとして、「よこはま朝食キャンペーン」（期間：2021 年 03 月 01 日～2021 年 04 月 30 日）が実施されるのを切っ掛けに、当社において朝食欠食改善助成制度を導入することと致しました。

キャンペーン終了後も当該制度を継続するため、「健康管理規程」を改訂して活動をスタートさせました。

2021 年度からは規定を改定して、健康維持のための活用範囲を拡げ、朝食限定を撤廃した活動に進化させました。



5. 地域社会への取り組み

- 横浜型地域貢献企業認定の取得

本制度は、横浜市によるCSR認定制度で、地域を意識した経営を行うとともに、本業及びその他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる企業等を、一定の基準の下に「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する制度です。

当社は、CSRに関する取り組みが評価され、平成26年9月24日に取得し、平成28年の更新審査において、「最上位」認定にランクアップし、現在まで継続しております。



- 横浜市水道局殿の「水のふるさと道志の森基金」への寄附

微力ながら、水源保全活動の主旨に賛同し、道志水源林ボランティア活動を支援するため、2013年度より定期的な寄附を継続して行っております。



- 横浜のスポーツ・チームへの協賛

2015年度～2016年度は、横浜FC殿が神奈川県内の小学校や養護施設の子供たちを招待することを通して、地元の子供たちにサッカーを通じて夢を与えることに賛同し、シーズンシート購入を、2017年度からは、横浜ビー・コルセアーズ殿が行う地域貢献活動に賛同してサポートカンパニー登録致しております。



- 一般社団法人 AOH 殿からのお茶菓子購入

地域店舗活用と障がい者・高齢者・健常者が共生するコミュニティ作りを行っている一般社団法人 AOH 殿の取り組みに感銘し、福利厚生の一環として毎月此処からお茶菓子を購入させて頂いています。



- メイドインつづき企業の活動

横浜市都筑区のメイドインつづき推進事業に参加し、「メイドインつづき企業」として、地域の活性化や活気溢れる街づくりに参画しています。

当社の主な活動として、「夏休み！つづき・ものづくり体験」、「ドイツクリスマスマーケット in 都筑」や「テクニカルショウヨコハマ」への出展等があります。(写真は 2019 年度のものづくり体験の様子です。)



- つづき 今できることからプロジェクト

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大予防対策のひとつとして、健康経営会議実行委員会が推奨する「自作マスクで医療を守ろう #SAVETheNurse 」に賛同すると共に、『つづき 今できることからプロジェクト』として、材料調達や製作を始め、協働で完成した布マスク 300 枚を、2020 年 05 月 08 日（金）に都筑区役所へ寄附しました。



- 公益財団法人かながわ海岸美化財団の会員

当社は、海岸の清掃、海岸美化に関する啓発、美化団体の支援及び海岸美化に関する調査・研究等を行うことにより、相模湾を中心とする海岸の美化を図り、以て海岸の自然環境の保全と利用環境の創造に寄与することを目的とする「公益財団法人かながわ海岸美化財団」の2020年度法人会員に登録し、毎年度更新登録をしています。

株式会社コア・エレクトロニックシステム様 [会員番号 HD20200107]



- 神奈川県福祉子どもみらい局殿等との連携

当社は、エコバッグの配布に際して、神奈川県福祉子どもみらい局こどもみらい部子ども家庭課殿の活動に連携し、「児童虐待・DVの防止」の啓発チャームを附属させた格好で配布したり、神奈川県子ども家庭課の協力要請に賛同し、親の病気や離婚、虐待など、様々な事情により家庭で暮らせなくなった子どもたちを一定期間自分の家庭に迎え入れ養育する「里親制度」の普及推進に努めています。



- 「モノづくりキッズパーク」協賛

当社は、日本のモノづくり製造業の技や匠といった職人技術の魅力発信だけではなく、モノを運ぶ物流業や、モノを元に戻す再生資源回収業など、モノづくりに係わる企業のワークショップを通じて、子供たちに「モノを大切にする心」を体験型のモノづくりイベント「モノづくりキッズパーク」の主旨に賛同して、協賛しました。

ヨコハマの新しいモノづくりワークショップ



モノづくりキッズパーク

2021年1月9日 土

9:30-17:30 入場無料

横浜駿賀ホール マリナリア

(横浜市中区山下町2番地(山下公園のすぐの隣))

みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩約5分

● 入場料は2時間ごとの入れ替え制

● 事前にあさ8券より入場整理券を配布

● 新型コロナウイルス感染予防対策実施

● 一部のワークショップや飲食は有料

作って学ぼう！

モノづくり体験ワークショップ
エコクラフト、アーティストによる手作り工作
モノづくりを教えてくれるよ。
何ができるか楽しみだね！

描いて学ぼう！

絵本読み聞かせ会
絵本読み聞かせ会は毎回、
みんなで一緒に絵本を読みながら、
どうぞお子さんの絵本がわかるかな？

食べて学ぼう！

ヨコハマの美味しいご当地グルメ
ヨコハマからある方に来てもら
て、その土地の味を教えてもら
い美味しいご当地グルメを味わお

www.monokippa.jp



令和04年03月14日
株式会社コア・エレクトロニックスシステム
CSR推進委員会
SDGs委員会